

中学年総合「母子、再発見！」

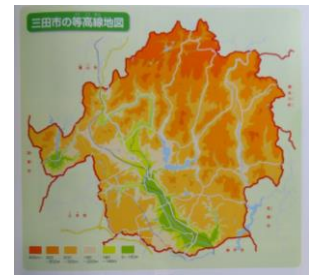
中学年は、今年度総合的な学習で「母子、再発見！」をテーマに学習をすすめました。「みんなが暮らしている母子のことをどこまでわかっているかな?」「母子について知っているようで知らないことがあるかも」ということで、まずは社会科で母子や永沢寺について学習したことをきっかけに自分たちがどんなところに住んでいるのか、どんな歴史があるのか探っていくため、母子調査隊を結成し総合学習が始まりました。

母子小学校はどこにあるの?

社会科の「住んでいる町について調べよう」の学習で、「わたしたちのまち三田」という教材本から三田市の形や、それぞれの学区の特徴について地図をもとにわかったことを話し合った。母子小学校は緑豊かなところだということが資料からも読み取れたが、「三田市は自然豊かな学校がたくさんありますが、母子小学校が一番そうかもしれないね。」と話す子どもたちは「どうして?」という反応でした。「三田市で一番高いところにある学校だし、山の上にある学校は母子だけかな。」と言うと「え!?山の上!?ここは山の上ではないですよ。」と子どもたちは話をしました。その時(もしかしたらこの子たちは母子のことを知っているようで、知らないことがたくさんあるのかもしれないな。)と思い、みんなで母子についての知っているようで知らない『^{はてな}?』を探してみることにしました。

母子調査隊結成!~山の峰って?~

まずは、登下校や生活の中で母子の『?』を探していきました。そんな中、国語の授業でふと出てきた「峰」という言葉の意味を子どもたちに聞くとすぐに国語辞典で調べ始めました。そこには、「山の高くそびえる頂、その付近」と書かれていて、「これって母子小学校のことかも。」と言うとともに「この『峰』という字、どこかで見たことがある。」という話になりました。みんなで考えた結果、「山の峰会館」が出てきました。それですっきり…と思いきや一人の子が「図書室で『峰』のついた本があったような…」と言いました。そこで、みんなで図書室へ。図書室では、どこにそんな本があるのか手分けして探しましたが、なかなか見つかりません。あきらめかけたその時、「あ!一番上の棚にある!」と発見!そこには「山の峰」と書かれた文集が多数保管されていました。早速、子どもたちはその文集を手に取り読んでいきました。そこには自分たちの写真や作文が載っていました。「前に書いた作文が載っている!」と喜びの声があった一方で、「どうしてこの文集も会館と同じ『山の峰』という名前がついてるんだろう?」と



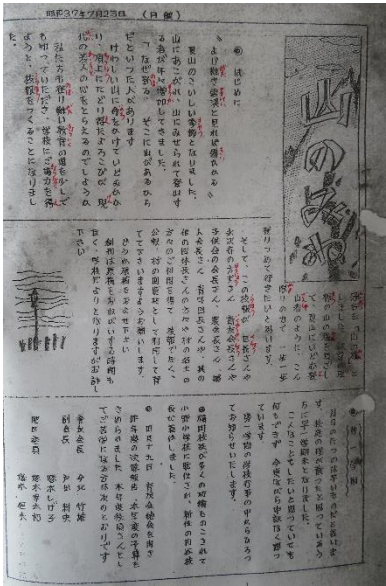
いう話になりました。子どもたちは文集の第一号を探しましたが、図書室には37号までしかありませんでした。私の「どうする?」との問いに「どうしてそんな名前になったのか調べたい!」とみんな答え、ここに母子調査隊が結成されました。

母子調査隊 出動!~山の峰第一号を求めて~



図書室になかった第一号がどこにりそうか考えていきました。その中で「校長先生なら持っているかもしれない。」という話になり、校長先生に聞きに行きました。予想通り校長室には第一号から保管されていて、後日見せていただけることになりました。

日付は昭和37年
(1962年)7月23日

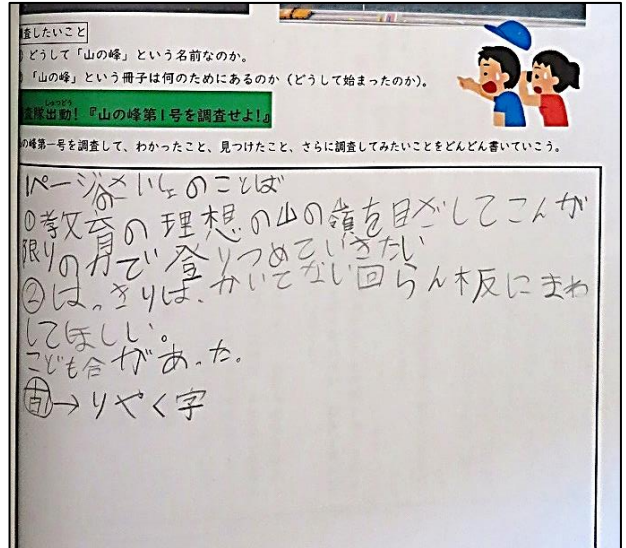
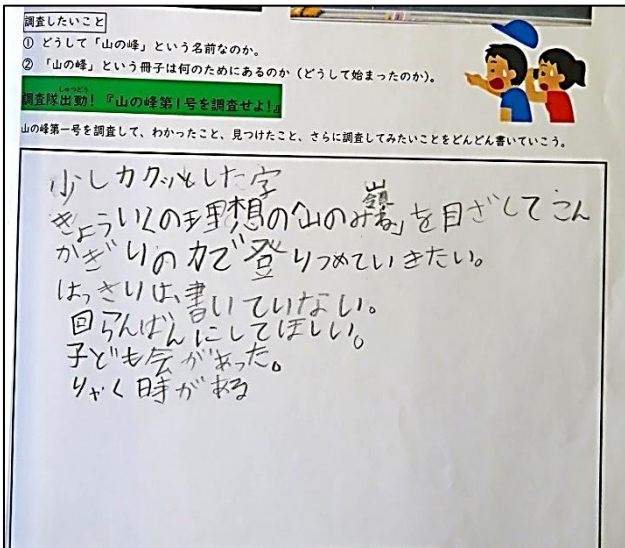


そこには今の文集からは想像もつかないような「山の峰 第一号」がありました。

今の「山の峰」は冊子ですが、第一号は両面刷りの一枚の用紙でした。その用紙も長い時間の中でところどころ破れたり変色したりしていました。第一号に触れさせてもらった子どもたちはとても大切に、とても丁寧に手の上に乗せ、感動していました。校長先生があらかじめコピーを取ってくださっていたので、子どもたちは第一号のコピーをいただき、「山の峰」の名前の由来やどうして「山の峰」を作るようになったのか調べることにしました。

母子調査隊 調査開始~山の峰を解析せよ~

山の峰第一号は約60年前の文章ということもあり難しい漢字や言い回しがあったので、まずは私が音読し、読み仮名を書くとともに気になる箇所をチェックしていきました。そして、名前の由来や発行するようになった理由以外にも気になることを出し合いました。



第一号では十分に調べたいことが書かれていなかったりさらに知りたいことが出てきたりしたので、第二号を読んでいくことにしました。第二号は、全8ページの冊子になっていました。こちらにも読めない漢字や難しい言葉がたくさんあったので、読み仮名を書き、意味を調べながら読み進めていきました。そして第2号からは4つのキーワードを見つけました。

- | | |
|---|----------------------|
| ① | どうして出稼(でかせ)ぎにっていたのか。 |
| ② | どうしてお酒造(づく)りにっていたのか。 |
| ③ | ほとんどのお父さんは行っていたのか。 |
| ④ | 母子杜氏(とうじ)って何のことか。 |

それらのことを週末でお家の人に聞いてくることにしました。週明けにお家の人から聞いたことをもとに交流しましたが、地域の方にインタビューに行ってきた子の話がとても詳しくてほかの子たちも興味津々で聞いていました。その地域の方は長年母子に住んでいて杜氏にも行ったことがある方でした。そんなお話を聞いたら、ほかの子たちも直接聞きたくてたまらなくなっていました。そんなとき、学校の近くにお住まいの方が最後の母子杜氏として数年前まで神戸の方へ行っていたという情報があり、インタビューをさせていただけないかお願いしました。了承を得ることができ、子どもたちとインタビューしたいことをまとめていきました。

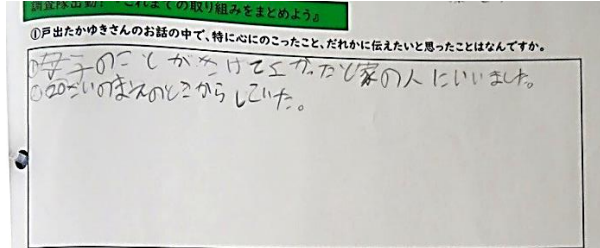
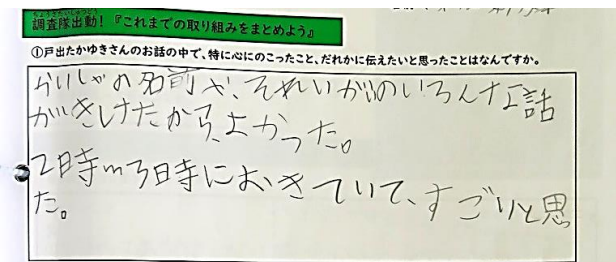
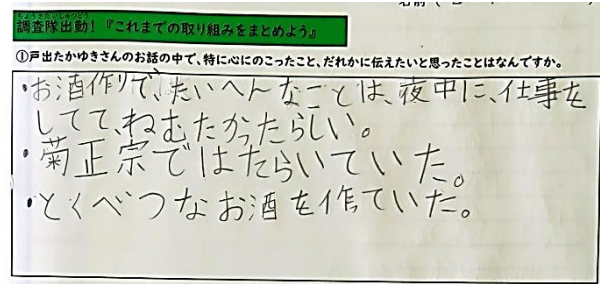
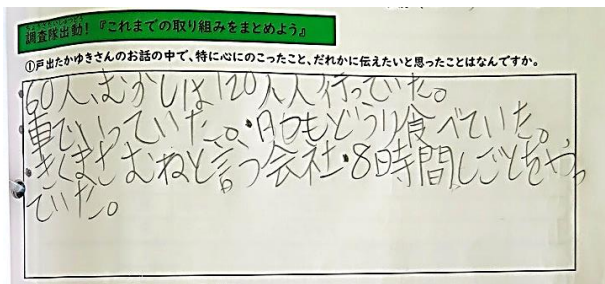
母子調査隊 出発～母子杜氏の方からお話を聞こう～

インタビュー当日までに聞きたいことをそれぞれにまとめて、誰が何を聞くのか決めていきました。時間が限られているので、一人3つの質問をすることにしました。いざインタビューを始めると、お答えいただいたことについても疑問がわいてきたりどうしても聞きたいことがでてきたりしてたくさんのお話を聞くことができました。その中でも、「毎年冬には何か月も出稼ぎに行くのは大変だった。」ことや「寒い日でも夜中仕事することがあって、寝てしまいそうだった。」こと、「しんどかったけれど、仕事仲間と食べながら話をするのが楽しかった。」こと、そして「そんな時に送られてくる『山の峰』が本当にうれしかった。」ことなど話してくださいました。



おたずねしたいこと	
1	どうやって出稼ぎに行っていたのか。
2	行きや帰りはどんな気持ちか。
3	何人くらい行っていたか。
4	どんなお酒を造っていたか。
5	どこでお泊りしていたか。
1	行く時の気持ち
2	どこにっていたのか
3	どうやって行っていたのか
4	何か月行っていたのか
5	何年ぐらいいっていたのか
6	何酒を作っていたのか
7	冬以外はどんな仕事をしていたのか
8	帰ってきたときの気持ち
9	行っていたときのきもち
1	母子杜氏ってなんのこと?
2	どうして出稼ぎに行ってたの?
3	お酒はどこで作っていて何のお酒を造っていたの?
4	何を食べていたの?
1	どうやってお酒造りにっていたのか。
2	なぜお酒造りにっていたのか
3	会社の名前は
4	お酒の種類は何種類くらいか。
5	家に帰ったらどんな気持ちだったのか。
1	子どもとかさみしそうじゃなかったか。
2	どこにっていたのか、
3	会社はどこか。
4	何日くらい行っていたのか。
5	何で行っていたのか。
6	母子小学校はどんなだったのか。
7	何人学校にっていたのか。
8	眠たくなかったのか。
9	友だちが出稼ぎに行っていたのか。
10	何時間仕事をしていたのか。
11	寒くなかったのか。
12	どんな仕事場だったのか。

学校に戻ってきてから、母子調査隊でわかったことや、さらに調べたい事を書いていきました。その中に、「みんなに伝えたいこと」があり、全校のみんなに発表することにしました。



みんなに伝えたいこと

母子調査隊 発表～みんなに思いを伝えよう～

発表の場を『冬の学習発表会』に決め、発表会への準備を始めました。「何を伝えるのか。」「どんな方法で伝えるのか。」「役割分担はどうするのか。」など話し合っていました。この冬にiPadが一人一人に配布されたこともあり、紙面とiPadで発表することに決めました。それぞれに自分が担当したことを、これまでに書いてきたワークシートや資料をもとにして発表内容をまとめていきました。何か月も前のこともあるので、ぼんやりしか覚えていないことは友だちに聞きながら協力して取り組むことができました。発表資料が完成したら、いよいよ発表の練習です。資料の提示の仕方や、声の出し方、発表内容などお互いに見合いアドバイスをしながら高まっていくことができました。

発表当日は緊張しているようでしたが、声を出すごとに緊張がほぐれ、最後まで発表することができました。

この『母子調査隊』を通して、『①課題設定→②情報収集→③整理・分析→④まとめ・表現』を行うことができました。この活動で改めて母子への思いが高まったとともに、母子についてさらに調べてみたいことが出てきています。これからも、自分たちで課題を見つけ解決するための行動を起こしていけるように取り組んでいきます。



発表練習の様子



学習発表会の様子

